

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建築計画Ⅲ	
科目基礎情報						
科目番号	0007		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	なし					
担当教員	羽鳥 芳之					
到達目標						
1. 建築に対する理解を深め、建築の魅力を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができる 2. 建築と社会との接点を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができる 3. 発表会を通じて適切なプレゼンテーションができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建築に対する理解を深め、建築の魅力を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができる		建築に対する理解を深め、建築の魅力を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができる		建築に対する理解を深め、建築の魅力を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができない	
評価項目2	建築と社会との接点を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができる		建築と社会との接点を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができる		建築と社会との接点を見出し、建物を評価できる能力を身につけることができない	
評価項目3	発表会を通じて適切なプレゼンテーションができる		発表会を通じてプレゼンテーションができる		発表会を通じたプレゼンテーションができない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 ④ JABEE (A)						
教育方法等						
概要	多様化する住宅、人に優しい集合住宅、コミュニティーセンタ、秀でた地区計画について学ぶ。					
授業の進め方・方法	授業方法は、講義と演習を組み合わせで行う。					
注意点	社会との関わりの中で、建築というフィルターを通して、現代社会の抱える問題や将来像を探ることで、建築を単にデザインや工学の学問に縛られない広い視野と物事の本質を見抜く力を身につけることが重要である。また、環境問題や少子高齢化など、今後予想される諸事象に触れることで今後の設計計画に取り組んでいく心構えと過程を経験させるものである。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	多様化する住宅についての分析（一般解と特殊解についての考察等） (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	住宅に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
		2週	多様化する住宅についての分析（一般解と特殊解についての考察等） (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	住宅に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
		3週	多様化する住宅についての分析（一般解と特殊解についての考察等） (2) 発表	住宅に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解し、発表により共有する		
		4週	人にやさしい集合住宅（家族の多様化、高齢化等） (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	集合住宅に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
		5週	人にやさしい集合住宅（家族の多様化、高齢化等） (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	集合住宅に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
		6週	人にやさしい集合住宅（家族の多様化、高齢化等） (2) 発表	集合住宅に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解し、発表により共有する		
		7週	中間試験（住戸プランについて）適正なプランニング能力の評価	住戸プランについて、適正なプランニング能力を身につけ、評価する		
		8週	コミュニティーセンター（地域で育てる文化） (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	コミュニティーセンターに関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
	2ndQ	9週	コミュニティーセンター（地域で育てる文化） (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	コミュニティーセンターに関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
		10週	コミュニティーセンター（地域で育てる文化） (2) 発表	コミュニティーセンターに関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解し、発表により共有する		
		11週	秀れた地区計画の事例の収集 (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	秀でた地区計画に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
		12週	秀れた地区計画の事例の収集 (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理	秀でた地区計画に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解する		
		13週	秀れた地区計画の事例の収集 (2) 発表	秀でた地区計画に関する資料を収集する、法規的分析等を行い理解し、発表により共有する		
		14週	レポート作成・発表	これまでの範囲を理解する		
		15週	レポート作成・発表	これまでの範囲を理解する		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	地区計画制度について説明できる。	4	
			建築協定・緑化協定などの住民参加・協働のまちづくりの体制について説明できる。	4		

			居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。	4	
			文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	
			建築計画・設計の手法一般について説明できる。	4	
			計画の立案ができる。	4	
			企画の手法について理解できる。	4	
			動線について説明できる。	4	
			ゾーニングについて説明できる。	4	
			現代におけるコミュニティの役割について説明できる。	4	
			参加協働によるコミュニティ開発について説明できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	0	70	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	30	0	0	0	70	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0